

C-5					
主題	グランドデザイン導入による、チーム力の向上に関する取り組み				
副題	目指す方向性を共有し、5年後の未来を描こう				
キーワード 1	チーム力の向上	キーワード 2	方向性の統一	研究(実践)期間	8カ月

法人名・事業所名	社福) 練馬区社会福祉事業団 富士見台特別養護老人ホーム				
発表者(職種)	阿部龍(介護職員)、山田佳織(介護職員)				
共同研究(実践)者	遠藤共一(施設長)、渡辺太一(相談係長)、竹内徹(介護主任)、他				

電話	03-5241-6010	FAX	03-5241-1760
----	--------------	-----	--------------

事業所紹介	緑の多い閑静な住宅街にある、56床(ショートステイ含む)の多床室を主とした従来型の特別養護老人ホームです。1階には通所介護事業所を併設しています。練馬区でも特に高齢化率が高い地域の中で、認知症であっても安心して暮らすことができるように、地域包括ケアシステムの拠点としての運営に取り組んでいます。
-------	---

《1. 研究(実践)前の状況と課題》

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けて、日々の感染予防対策を徹底しつつも、施設生活においては活動制限を余儀なくされている。誰もが経験したことのないこの状況を乗り越えるためには、正に介護業界全体が、『ケアとは何か』『お客様ひとりひとりの人生に対して施設はどのようにあるべきか』といった高齢者福祉の原点に立ち返って改めて考え、同じ目標を持って取り組む時期にあるといえる。さらに、当施設独自の状況として、昨年度に長年在籍していた複数のリーダー層が転出したが、積み重ねた業務の形骸化と、施設特有のケアに関する固定的な思考が新しい発想を生まれにくくしている環境を自覚させることになった。そこでまず、チーム全体で新たなケアの方向性を見出し、全員が同じ目標に向かって進むために、分かりやすい「グランドデザイン」を掲げることにした。

《2. 研究(実践)の目的ならびに仮説》

「グランドデザイン」を導入する目的は、チーム全体で目指すホームの未来像を共有すること、さらに、掲げた目標に向かってチーム全体で取り組む事ができる状態にすることである。この取り組みは、単年ではなく年度ごとにステップを踏んで段階ごとの確かな達成度を図るといった長期的なものである。その課程において、職員一人ひとりの成長がチーム全体の成長に繋がることを期待するものである。

実践の主な仮説は次の2点である。

- 新たな発想を基に、チーム全体で目標を共有し実現に向けて取り組み続けるという「新しいメンバーでの新しい施設づくり」の基盤が確立される。
- 常にチームで検討し実現に向けて努力する過程で各職員が成長するという「チーム全体で取り組む人づくり」の体制が強固になる。

《3. 具体的な取り組みの内容》

「グランドデザイン」の要点を「アットホームな雰囲気」「認知症の方でも笑顔あふれる」「最期までその人らしい生活ができる」の3点とし全職員に周知した。その実現に向けた具体的な取り組みは次の3点とした。

- (1)各職員の能力と特性を踏まえてチームの役割を分担し、適材適所のメンバー構成とする。
- (2)未来を見据えた人材育成を意識し、若手職員が中心となって活躍できる環境をつくる。
- (3)誰もが内容を意識できるように、ガイドブックとコンセプトムービーで「見える化」する。

《4. 取り組みの結果》

各委員会は、メンバー、委員長、スーパーバイザーの構成により、若手職員を中心とした少人数での業務の取り組みが、意図的な職員成長の機会になった。また、経験の浅い職員を含め各職員が安心できる雰囲気、発言しやすい環境が構築できた。例えば、今回のアクティブ福祉の担当も入職3年目の職員が活躍する機会とした。さらに、各委員会活動は、「グランドデザイン」の実現に向けた取り組みそのものであることを多職種が常に意識し、同じ目標に向う連携が強化された。

「グランドデザイン」の内容と実現に向けたステップを具体的に描いた「ガイドブック」が完成し、たとえメンバーが変わっても、目指す方向性がブレることはなくなった。令和3年度は「魅力を自分たちでつくってみよう」とのスローガンで「ステップ1」に取り組んでいる。なお、現在作成中である「コンセプトムービー」は、誰に対しても視覚的インパクトを与え、多職種のイメージ共有を助け、同じ目標に向かうための必要不可欠なツールになる。

《5. 考察、まとめ》

「グランドデザイン」の導入によるチーム力の向上について、数値的な実証を今後行っていく必要がある。現時点では、「職員のモチベーションは明らかに上がってきた」という実感があることと、全職員がケアの方向性を統一でき、同じゴールに向かいチームで取り組むことができている現状があることが、「グランドデザイン」の導入効果であると判断できる。

しかし、この効果をより深く検証するには期間が短すぎ、あくまでも今後5年間続く計画のスタート点、未来を描くごく初期の段階を経過したに過ぎない。今後は、職員だけでなく施設に関わる全ての人が、富士見台特別養護老人ホームが目指すビジョンを自然に共有できるようなチーム力の向上に努め、「グランドデザイン」の実現を目指していきたい。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

本研究(実践)発表にあたり、お客様の写真等は、本発表以外では使用しないこと、また、それにより不利益を被ることはないことをご本人(ご家族)に説明のうえ、回答をもって確認と同意を得た。

《7. 参考文献》

「介護・福祉事業所のための採用計画づくり GUIDE BOOK」株式会社 Blanket.

《8. 提案と発信》

今後、介護人材の不足が更に深刻になる時代を迎える。介護の仕事に「生きがい」を感じてもらえるような「職場づくり」をすることが現役職員の使命でもあると考える。当施設の「職場づくり」の創意工夫とその積極的な共有がその一助になれば幸いである。